

商品名 1%ディプリバン注-キット 医薬品基本情報

薬効	1119 その他の全身麻酔剤	一般名	プロポフォールキット
英名	Diprivan	剤型	キット類
薬価	2670.00	規格	500mg 50mL 1筒
メーカー	サンドファーマ	毒劇区分	(劇)

1%ディプリバン注-キットの効能・効果

全身麻酔の導入、全身麻酔の維持、集中治療の人工呼吸中の鎮静

1%ディプリバン注-キットの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 亜鉛欠乏又はその恐れ・疑い、下痢、熱傷、重度敗血症、ASA3、ASA4、呼吸器障害、循環器障害、循環血液量減少、てんかん発作の既往、薬物依存の既往、薬物過敏症＜本剤又は本剤の成分に対する過敏症を除く＞の既往、血中脂質が過剰又はその恐れ・疑い、脂質代謝障害、脂肪乳剤投与中、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

1%ディプリバン注-キットの副作用等

1. 血管浮腫、気管支痙攣、紅斑、低血圧、アナフィラキシー、一過性無呼吸、てんかん様体動、重篤な徐脈、不全収縮、心室頻拍、左脚ブロック、肺水腫、覚醒遅延、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、頻脈、不整脈、血圧変動、急激な体温上昇、筋硬直、血液暗赤色化、チアノーゼ、過呼吸、ソーダライムの異常加熱、ソーダライムの急激な変色、発汗、アシドーシス、高カリウム血症、ミオグロビン尿、重篤な悪性高熱類似の臨床症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 低血圧、舌根沈下、心室性期外収縮	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. 注射時疼痛、血管痛	記載場所	その他の副作用
4. 肺炎、腎機能障害、性欲抑制不能、譫妄、低蛋白血症、戦慄	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明

5. 徐脈、ST低下、振戦、吃逆、発赤、紅斑、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、 γ -GTP上昇、ビリルビン上昇、白血球増加、低アルブミン血症、静脈炎、血栓症	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 頭痛、咳嗽、悪心、嘔吐、口腔内分泌物増加、Al-P上昇、変色尿、白濁尿、緑尿、多幸症、しびれ感、術後発熱	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. 血中脂質濃度が上昇	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 無呼吸、低血圧、呼吸循環抑制、覚醒遅延、呼吸抑制、死亡、循環器系抑制、呼吸器系抑制、血管痛、局所疼痛、腫脹、血腫、組織壊死、代謝性アシドーシス、横紋筋融解症、高カリウム血症、Brugada症候群に類似した心電図変化、右側胸部誘導<V1～V3>coved型ST上昇、心不全、重度肝機能異常、バルビタール身体依存交差能、身体依存形成能、身体依存強化効果	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

1%ディプリバン注-キットの相互作用

1. 薬剤名等：ベンゾジアゼピン系薬物

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

2. 薬剤名等：バルビツール酸系薬物

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

3. 薬剤名等：全身麻酔剤

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

4. 薬剤名等：局所麻酔剤

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

5. 薬剤名等：中枢神経系抑制剤

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

6. 薬剤名等：アルコール

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

7. 薬剤名等：降圧剤

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

8. 薬剤名等： β 1遮断剤

発現事象	麻酔・鎮静作用が増強、収縮期血圧・拡張期血圧・平均動脈圧・心拍出量及び心拍数が低下	投与条件	-
理由・原因	相互に作用（麻酔・鎮静作用、血圧低下作用、徐脈化）を増強	指示	慎重投与

9. 薬剤名等：徐脈等を生じる可能性のある薬剤を併用

発現事象	重篤な徐脈、不全収縮	投与条件	-
理由・原因	本剤には迷走神経抑制作用がない	指示	注意

10. 薬剤名等：脂肪乳剤投与中

発現事象	血中脂質濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤1.0mLあたり約0.1gの脂質を含有	指示	注意

11. 薬剤名等：アルフェンタニール

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

1%ディプリバン注-キットの配合変化

1. 薬剤名等：他の薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.